

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

平成27年 6月12日
中国運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
安来市地域公共交通会議	<p>【事業内容】 (1)既存公共交通網の評価・検証 (2)他地域適用事例の収集・整理 (3)市街地循環バスの実証調査・検証 (4)山間部交通空白地域への対応 (5)安来市公共交通網形成の課題整理 (6)安来市公共交通網の構築 (7)自治体に与える影響分析 (8)地域公共交通ネットワーク計画への反映 (9)協議会の開催</p> <p>【結果概要】 ・市街地循環バスの実証調査を実施した。2ヶ月という短期間にも関わらず利用者は徐々に増加し、また、アンケート調査等からも市民が市街地循環バスの必要性を感じていることが確認できた。 ・山間部交通空白地域のモデルとして広瀬地域(宇波地区)を選定し、無償住民輸送の調査を開始した。今後本格的に検討していくための基盤を整えることができた。 ・協議を行うための安来市地域公共交通会議を4回開催した。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> 調査事業を活用し、平成26年度に2つの公共交通計画を作成した(中海沿岸地域版、広瀬地域(宇波地区)版)。 その計画に基づき、平成27年度中海沿岸地域において、再度市街地循環バスの実証運行を実施し、定量的な目標を見定める。それに併せ、既存路線がより効率的な運行ルート・ダイヤとなるよう見直しを図る。 平成27年度中に市街地循環バスの本格運行を目指す。 平成27年度中に生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統確保維持計画)を作成し、平成28年度に認定申請書を提出予定。 平成29年度に地域内フィーダー系統確保維持費用庫補助金(市街地循環バス運行費の補助)を申請予定。 広瀬地域(宇波地区)においては、平成27年度に住民とさらに議論を重ね、交通空白の解消策と生活サポート事業の詳細について検討を深める。 	<p>○市街地を循環するバスの実証調査、当該実証運行を基にしたデータの収集・分析と山間部の交通空白地域で行われた住民による無償輸送の調査、さらに、これらを踏まえた交通計画の策定等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○本調査事業の結果を活用し、生活交通確保維持改善計画の策定、さらには地域公共交通網形成計画等が策定され、これらの計画に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
大田市地域公共交通協議会	<p>【事業内容】 ・現況調査(人口、高齢化、地形、公共交通の現状等) ・市内バス路線乗降調査(全17路線を対象) ・バス利用者ヒアリング調査(乗降調査にあわせて実施) ・住民アンケート調査(住民約3,100人を対象) ・民生委員アンケート調査(民生委員161名全員を対象) ・高校ヒアリング調査(県立高校4校を対象) ・関係機関ヒアリング調査(医療機関、商業施設等10か所を対象)</p> <p>【結果概要】 GISを活用した現況調査や、住民アンケート調査等の結果を分析し、地域にあった運行形態の見直しや、公共交通空白地域の解消に向けた取組の方向性等について検討した。 山間部の特に人口が少ない地域においては、住民の移動に関する課題を公共交通だけで解決することが困難であるため、タクシー救援事業の活用策や、地域が主体となったバス路線維持確保策について検討した。</p>	A	<p>①平成27年度に、バス路線の見直しの実施計画(市の任意計画)を策定予定</p> <p>②策定した実施計画に基づき、平成27年度下期以降より、デマンド交通の試験運行を実施予定</p>	<p>○現況調査、乗降調査、住民アンケート調査等の実施結果を基に運行形態の見直しや公共交通空白地域の解消に向けた取組の方向性等の検討、これらを踏まえた地域公共交通網形成計画の素案のとりまとめ等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○平成27年4月末には地域公共交通網形成計画が策定されており、今後、当該計画等に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

平成27年 6月12日
中国運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
高梁市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における公共交通の現況と課題整理 ・住民の移動実態、移動需要調査 ・地域に適した、交通手段の検討 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・住民、高校生、中学生へのアンケート調査及び関係機関へのヒアリングにより、目的別移動需要を把握することができた。 ・地域に適した交通手段、サービスレベル等についての検討を踏まえ計画素案を作成し、パブリックコメントを実施するとともに、地域公共交通会議にて承認を得た。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・通院・買い物を基本とした生活圏を踏まえ、「備中高梁駅」「成羽病院周辺」「川上町地頭地区」の3箇所を交通拠点とした生活交通ネットワークの形成に向け交通体系を再編 ・平成27年度中に地域公共交通再編実施計画策定予定 	<p>○現況調査、住民アンケート調査等の実施結果を基に持続可能な交通体系の構築へ向けた交通網の再編等の検討、これらを踏まえた地域公共交通網形成計画のとりまとめ等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○今後、当該計画等に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
広島市陸上交通地域協議会	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス交通の将来需要予測 ・バス活性化に向けた具体的な方策の検討 ・バス活性化基本計画案の作成 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来人口を踏まえた将来需要の予測を行い、区間ごとの運行便数及び利用者数を整理した。 ・広島市内のバス交通の現状を踏まえた課題整理及びそれらを踏まえたバス活性化の基本的な考え方を整理した。 ・目標とするサービスレベル、計画としての目標について検討した。 ・具体的なバス活性化施策について検討した。 ・バス活性化基本計画素案を作成した。 ・平成27年度のできるだけ早い時期にバス活性化基本計画を策定する予定である。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・バス活性化基本計画はバス交通の将来的なあり方を示したものであり、階層性のあるバス交通ネットワークの考え方を示している。 ・今後、「バス活性化基本計画」及び並行して検討中の「公共交通体系づくりの基本計画」をベースとし、平成27年度に地域公共交通網形成計画、平成28年に地域公共交通再編実施計画を作成予定であり、その中で具体的な路線などについて盛り込んでいくこととしている。 ・また、地域公共交通再編実施計画に基づく施策の実施にあたっては、地域公共交通確保維持改善事業の重点的な支援の活用を見込んでいる。 	<p>○バス交通の現況等についてのデータ収集・分析によるバス路線網の再編・集約などの検討、これらを踏まえたバス活性化基本計画素案の策定等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○今後、バス活性化基本計画の策定、さらには地域公共交通網形成計画等が策定され、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)**

平成27年 6月12日
中国運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
三原市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関する現況調査 ・地域公共交通に係る調査 ・三原市地域公共交通計画の策定 ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現況交通実態調査などにより、地域公共交通の現状分析と課題を整理した。 ・市民及び利用者等へのアンケートにより、現在の地域公共交通に対する満足度や今後望む交通サービス等を把握することができた。 ・将来の本市の姿を見据えた持続可能な地域交通体系の構築に向けた取組方針を検討し、計画素案を作成。 ・協議会の承認を受け、三原市地域公共交通網形成計画を策定した。 	A	<p>当市の持続可能な地域公共交通網の形成に関する基本的な方針を示した三原市地域公共交通網形成計画を策定し、路線バス及び地域コミュニティ交通に係る運行のサービス目標及び見直し基準を定めた。</p> <p>基準を下回る路線については、随時、運行内容の見直しを行い、路線の再編を実施していく。</p>	<p>○現況調査、住民アンケート調査等の結果を基にバス運行に係る見直し基準の設定、持続可能な地域公共交通体系の検討、これらを踏まえた地域公共交通網形成計画の策定等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○今後、当該計画等に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
世羅町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における交通の現況と課題整理 ・住民及び利用者アンケート調査 ・交通事業者及び医療施設等へのヒアリング調査 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・住民へのアンケートにより、住民の普段の移動状況や公共交通の利用実態、問題等を把握することができた。 ・交通事業者及び主要施設等へのヒアリングにより、公共交通の利用状況や各立場からの考え方、課題等を把握することができた。 	A	<p>・今後の協議会において調査課題の再確認を行い方向性の検討を行い、その後の計画策定の検討に移行する。</p>	<p>○現況調査、住民アンケート調査等の結果を基にした地域の現況把握や課題の抽出、これらを踏まえた今後の公共交通体系の方向性の検討等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○本調査事業の結果を活用し、地域公共交通網形成計画等が策定され、これらの計画に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

平成27年 6月12日
中国運輸局

評価対象事業名：地域公共交通調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
神石高原町地域公共交通協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の概要等の整理 ・地域公共交通の現状と問題点の把握 ・乗合バス利用実態調査 ・地域公共交通に係る住民ニーズの把握 ・地域公共交通計画のとりまとめ ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通を取り巻く環境を把握するため、基礎的データの整理、現況調査などにより、地域の公共交通の状況を整理した。 ・地域へのアンケートにより、後期高齢者(身体機能の低下した高齢者)の増加に伴う地域公共交通ニーズの変化や移動需要等を把握することができた。 ・協議会の検討を経て、利便性が高く効率的で持続可能な地域公共交通体系の構築を目指して、地域公共交通網形成計画として最終的にとりまとめた。 	A	地域公共交通網形成計画の策定により、具体的な取り組み方針ができたことで、利便性が高く効率的で持続可能な地域公共交通体系を構築するため、PDCAサイクルにより実行して行く。	<p>○現況調査、住民アンケート調査等の結果を基にした運行系統の見直しや利用実態に即した交通サービスのあり方の検討、これらを踏まえた地域公共交通網形成計画の策定等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○今後、当該計画等に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	
久米南町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通網形成の課題整理 ・モビリティ・マネジメントの実施 ・実証調査(デマンド交通の試験運行) ・地域公共交通網形成計画及び生活交通ネットワーク計画のとりまとめと策定 ・協議会の開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GISを活用した地域の現況調査や、H25年度に行った住民アンケート調査等の結果を分析し、公共交通空白地域の状況や、町民バス運行上の課題等を整理した。 ・住民説明会を5回開催し意見交換を行ったほか、デマンド交通のご利用案内(時刻表付き交通マップ)を作成・配布した。 ・2地区において24日間の実証調査(デマンド交通の試験運行)を行い、利用実績や利用登録者アンケート結果の分析等により、持続的かつ効率的な本格運行の方法について検討した。 ・調査結果をもとに久米南町地域公共交通網形成計画(素案)を作成し、パブリック・コメントを実施し、計画書としてとりまとめた。 ・事業期間中に久米南町地域公共交通会議を3回開催した(H26年度中に7回開催)。 	A	<p>①町内における公共交通空白地域の解消と、住民だれもが日常的に利用できる公共交通の実現を目指し、H27年度に生活交通ネットワーク計画を策定予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度中に、町全域においてデマンド交通の試験運行を実施 ・デマンド交通を補完する手段としてスクールバスを位置づけ、デマンド交通との役割分担による効率的な運用方法を検討 <p>②H28年度地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年4月よりデマンド交通を本格運行に移行予定 	<p>○現況調査、住民アンケート調査、デマンド交通の実証運行等を基にしたデータの収集・分析による持続的かつ効率的な交通体系等の検討、これらを踏まえた地域公共交通網形成計画の策定等本調査事業で実施すべき内容は確実に実施されている。</p> <p>○今後、当該計画等に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークが構築されることを期待する。</p>	